

学校便り

平成30年12月12日 No.9



11月は「なかよし月間」が行われました。
 テーマは、「ありがとうを伝えよう」「なかよしを広げよう」の2つでした。
 具体的な取り組みは、

- 5～9日 相談週間 クラスごとに子どもたち一人ひとりと話をする時間を持ちました。
- 6日(火) 校長講話 「一人の重み」
- 12日(月) 1, 2年 } なかよし連学年集会
- 20日(火) 3, 4年 }
- 26日(月) 5, 6年 }
- 16日(金) 学校開放日・PTA人権講演会 講師 広沢里枝子 「見えないってどんなこと?」

そして、全校では、言われて嬉しかった言葉・心が温くなる言葉・元気が出る言葉を各クラスごとに考え、昇降口に掲示しました。子どもたちは、各クラスで書かれた言葉をよく読んでいました。「ありがとう」「大丈夫」「ナイス」子どもたちの書いた言葉を読んでいると、私たちもどんどんこういう言葉を使っていかなくてはいけないと考えさせられました。子どもたちの笑顔に沢山の元気をもらっている私たちです。その子どもたちの笑顔がさらに増えるように、ふわふわ言葉を使って、「勇気付けの達人」になっていきたいと思います。



なかよし連学年集会は、特別支援コーディネーターが、①だれでもがんばってもできないことがある。それは悪いことではないし、ちょっと工夫すればできるよ。②みんなちがってみんないい。だから、ふわふわ言葉で心も体も元気にして、みんな仲良くしていこう。ということを学年に応じた内容でお話していただきました。

子どもたち一人一人は、大事な宝物です。子どもたちが認め認められ、支え支えられながら安心して生活できる学校を目指していきたいと思えます。



11月は、もう一つ“読書旬間”がありました。
 図書委員会による“全校児童への読み聞かせ”・読書スタンプラリー・なかよし月間のテーマを大事にした“なかよし郵便”が行われました。

読書スタンプラリーは、低・中・高学年でそれぞれ設定された冊数を読むと、図書館の貸し出しで使える「プラス1冊券」がもらえるという企画です。この「プラス1冊券」がなかなか人気で、これをもらった子どもたちは大喜びでした。

なかよし郵便は、お友だちに読んでほしい本をお手紙で紹介します。そして、最初に一人2枚が配られます。このお手紙を配達してくれるのは、郵便局を見学して郵便の学習をした2年生。2年生は、書かれた手紙を大切に配達してくれました。また、余分に用意していた手紙100枚は、

あっという間になくなったということです。相手の事を考えながら書いた手紙は温かい手紙だったのだと思います。職員室にも、「全校の先生がたやいろいろな先生へ」というかわいい手紙が届きました。ありがたくて、心が温まりました。

「ありがとうを伝えよう」「仲よしを広げよう」の最後は、子どもたちが主体となって活躍する『児童会大集会』でした。

各委員会では企画（ゲーム）を考え、企画に応じた場所や委員の動きを考えました。そして、各姉妹学級では、高学年の子どもたちが低学年のペアの気持ちを聞きながら一緒に企画への参加の仕方を相談していました。当日は、高学年の子どもたちが低学年のペアの様子を気にかけてたり優しい眼差しで見守ったりと、楽しい中に優しさがあふれる時間になりました。



体育委員会 「ピンポン ダッシュ」
 ピンポン球をお玉に入れて、障害物を越えながらゴールを目指す。
 グループみんなで手をつなぎ、じっと見守る温かさ。



給食委員会 「落とすな!マメ運び」
 器から器に箸を使って豆を移す。
 みんなの真剣な眼差しが一点に集中。



放送委員会「げんこう まちがいさがし」
 2つの放送原稿を見比べて間違いを探す。
 みんなで頭を寄せ合い考える姿が微笑ましい。

授業や活動を通し、相手の事を考え、「ありがとう」の気持ちを育て、みんなが仲良くなるために全校で取り組んだ11月でした。温かい気持ちを日々の中で感じ、伝え合える事を繰り返しやっていきたいと思っています。